第7号様式(第5条関係) (第1面) (用紙 日本産業規格A4縦長型) (総括票)

結果報告書(特定大規模事業者用)

2024	年	10	月	3	E
		10	/ 3	-	г

神奈川県知事殿

郵便番号 220 - 8625

住 所 神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号

京浜急行電鉄株式会社

氏 名 取締役社長 川俣 幸宏

神奈川県地球温暖化対策推進条例第15条の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

	N							
名称] ては、	巻者の氏名又は 你及び法人にあっ 京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏 は、代表者の氏名							
事業者の住所又は 主たる事務所の所在 地 地 神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号								
年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上 の事業者(神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則 原油機等								
		(以下「規則」という。)第2条第1号該当の事業者) 「原西換算 エネルギー うち 1,717 kl	0					
	に規模事業者の	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー 使用量が1,500k1以上の事業者(規則第2条第2号該当						
区分		の事業者) うち kl						
		対象自動車を100台以上使用する事業者(規則第2条第 使用 台						
		3号該当の事業者) 台						
主たる事業の業種	大 分 類	□ A 農業, 林業 ■ K 不動産業, 物品賃貸業 □ B 漁業 □ L 学術研究, 専門・技術サービス業 □ C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 □ M 宿泊業, 飲食サービス業 □ D 建設業 □ N 生活関連サービス業, 娯楽業 □ E 製造業 □ 0 教育, 学習支援業 □ F 電気・ガス・熱供給・水道業 □ P 医療, 福祉 □ G 情報通信業 □ Q 複合サービス事業 □ H 運輸業, 郵便業 □ R サービス業 (他に分類されないもの) □ I 卸売業, 小売業 □ S 公務 (他に分類されるものを除く) □ J 金融業, 保険業 K 69 不動産賃貸業・管理業						
連	絡 先	部 署 名 経営戦略宝 サステナビリティ推進担当 電 話 番 号 045 ~ 255 ~ 9397 F A X 番 号 045 ~ 255 ~ 9395 電子メールアドレス mizuki. obara_q7bekeikyu-group. jp						
※ 受 付 欄		<書類作成を委託した場合の連絡先> 社名:株式会社京急ビルマネジメント 特 部署名:PM事業本部 PM第1部 担当者名:加藤 碧 電話番号:045-307-3801 電子メールアドレス: aoi. kato_b8g@keikyu-group.jp						

(第2面)

2 計画期間

2022	年度	\sim	2023	年度

3 計画期間中のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び排出量の削減の目標(規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)_____

(者)							-						
	基 準 年 度		2021	年度									
県内に設置	卒 平 午 及	(年度~		度)								
している全ての工場等		基準排出量@	合計量	計画の初 量の合計量		の排出	2 年度 合計量	目の排	≒出量の	3年度 合計量	目の排	出量の)
におけるエネルギー起	年度ごとの排	(基) 5,140 (調) 5,160	tCO ₂		760 840	tCO_2	(基) (調)	3, 180 2, 930	tCO ₂	(基) (調)		tCO ₂	
源二酸化炭 素の排出の 状況等	出量の推移	4年度目の排 合計量	‡出量の	5年度目 合計量	の排	出量の	の排出	量の合詞		削	減	卒	ĸ
扒孔等		(基) (調)	tCO ₂	(基) (調)		tCO_2	(基) (調)	5, 719 5, 746	tCO ₂	(基) (調)	38. 1 43. 2	%	
県内に設置 している全	原単位の指標 の種類			排出量原	単位	の単位							
ての工場等 における排		基準年度の排 単位		計画の初 量原単位	年度	の排出	2 年度 単位	目の排	出量原	3 年度 単位	目の排	≒出量原	Ī
出量原単位 によるエネ	年度ごとの排 出量原単位の	(基) (調)		(基) (調)			(基) (調)			(基) (調)			
ルギー起源 二酸化炭素 の排出の状	推移	4年度目の排 単位	‡出量原	5年度目 単位	の排	出量原	目標と の排出			原 単	位削	減率	ĸ
の新田の私 況等		(基) (調)		(基) (調)			(基) (調)			(基) (調)		%	
	におけるエネル 化炭素の排出の 説明	< 削減目標の違: i を CO2排出標の違: i 最終年度ので 事業活動の 標量量に ● CO2排出度ので 標量 単一 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	達成 2排出む が進 の成 を を 変ママリ が 追 を で の で の で の の の の の の の の る で る し る し る し る し る し る り る し る し る り る し る り る り	況を鑑み,肖 > のほか,テナ ンパーク, z 重油A,LPGを	川減計 トントル ナテル	画を検討 撤退等の 京急油電 にエネル	する。 理由によ 観潮荘,	り排出: 観音幅	量が低減 テレストバ	した。			

		基準排出量の	合計量	計画の初年 量の合計量	・度の排出	2年度目の 合計量	排出量の	3年度 合計量	目の排	≒出量の
	年度ごとの排	(基)	tCO ₂	(基) (調)	tCO_2	(基)	tCO ₂	(基) (調)		tCO ₂
設置してい	出量の推移	4年度目の排 合計量	出量の	5年度目の 合計量		目標とした: の排出量の合		削	減	率
る全ての工 場等におけ		(基) (調)	tCO_2	(基) (調)	tCO ₂	(基) (調)	tCO ₂	(基) (調)		%
るエネルギー起源二		原単位の指標	の種類			排出量原単	位の単位			
酸化炭素の排出の状況		基準年度の排 単位	出量原	計画の初年 量原単位	度の排出	2年度目の 単位	排出量原	3 年度 単位	目の排	出量原
等		(基)		(基)		(基)		(基)		
				(調)		(調)		(調)		
		4 年度目の排 単位	出量原	5 年度目の 単位		目標とした: の排出量原単		原 単	位削	減率
		(基)		(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)		%

(第3面) 京浜急行電鉄株式会社

4 計画期間中のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び排出量の削減の目標(規則第2条第3号該当の事業者)

				V 10 = 2 4 - V.			,, =, ,,,,,	-14214 -		7 /14 1	
	甘 潍 左 広			年度							
県内で使用し	基準年度	(年度~	年月	度)						
ている全ての 対象自動車の		基準排出量	量の合計量	計画の初 ⁴ 量の合計量	∓度の排战 は	出 2 年度 計量	目の排出	量の合	3年度 合計量	目の打 :	非出量の
エネルギー起 源二酸化炭素	年度ごとの排		tCO ₂		tCO ₂			tCO ₂			tCO ₂
の排出の状況 等	出量の推移	4年度目の 合計量	の排出量の	5年度目の 合計量	の排出量の		した最終 の合計量	年度の	削	減	率
			tCO ₂		tCO ₂			tCO_2			%
県内で使用し	原単位の指標 の種類			排出量原	単位の単位	扩					
ている全ての 対象自動車の 排出量原単位		基準年度の 単位	り排出量原	計画の初 ⁴ 量原単位	再度の排出	出 2 年度 位	目の排出	量原単	3 年度 単位	目の打	非出量原
によるエネル	年度ごとの排 出量原単位の										
ギー起源二酸 化炭素の排出 の状況等	推移	4年度目の 単位	の排出量原	5年度目6 単位	の排出量原	京 目標と 排出量		年度の	原 単	位肖	川 減 率
V) ((1) (1)											%
計画期間内にギー起源二酸の状況に関す	おけるエネル:化炭素の排出 る説明										
t as sleet		,	使用台数		,		割合				
対象自動車の	総数 うち電気自動	計 重			台台			%	-		
使用状況	うち天然ガス				台			%	1		
	うちハイブ!				台			%]		
	うちディーゼ	ル代替LPカ	ス自動車		台			%			

		基準排出量0	の合計量	計画の初年 量の合計量	F度の排出 :	2年度目の排出 計量	量の合	3年度 合計量	目の排	‡出量の
	年度ごとの排		tCO ₂		tCO ₂		tCO_2			tCO ₂
使用している	出量の推移	4年度目の排 合計量	非出量の	5 年度目 <i>0</i> 合計量	○排出量の	目標とした最終 排出量の合計量	年度の	削	減	率
全ての自動車におけるエネ			tCO ₂		tCO_2		tCO ₂			%
ルギー起源二		原単位の指標	票の種類			排出量原単位	の単位			
酸化炭素の排 出に関する状 況等		基準年度の担 単位		計画の初年 量原単位	F度の排出	12年度目の排出 位	量原単	3 年度 単位	目の排	‡出量原
(九寺	年度ごとの排出量原単位の									
	推移	4年度目の排 単位	非出量原	5年度目 <i>0</i> 単位	り排出量原	日標とした最終 排出量原単位	年度の	原 単	位削	減率
										%

5 排出量の削減の目標を達成するための措置の内容

	計画	実施の結果
お出滅をる具措(2け量の達た体置規条るの目成め的 則第	把握し、前年との比較、稼働床面積等の影響を検討し、使用量の適切な管理、削減対策の早期実施、課題発掘等の実施につなげ、改善を図る。 ○その他(9999) ・購入電力をCO2排出係数の少ないプラン、購入ガスをカーボンニュートラルLNGへ変更することを検討・地産地消の再エネ電力の採用や、環境価値証書・非化石証書をはじめとするクレジットの活用などを検討 <設備導入等対策> ○空気調和設備対策(1201)	を継続実施した。 〇エネルギー使用量の管理(1105) ・各事業所において月ごとのエネルギー使用量を継続把握し、前年との比較、稼働床面積等の影響を検討し、使用量の適切な管理、削減対策の早期実施、課題発掘等の実施につなげ計画につなげるように提案した。 〇その他(9999)・購入電力をC02排出係数の少ないプラン、購入ガスをカーボンニュートラルLNGへ変更することを検討した。(継続検討中)・地産地消の再エネ電力の採用や、環境価値証書・非化石証書,クレジットの活用などを検討した。(予算措置が必要なため継続検討中) ・と023年度に、空調換気設備の計画的な更新・整備を実施した。 〇換気設備対策(1201)・2023年度は、過剰換気を抑制して対応したが、他の対策を優先した為に、全熱交換器の導入エリア拡大に至らなかった。 ○照明設備対策(1401)・2023年度に、既存の事業所でのLED化を計画的に推進した。
	計画	2023年度に、久里浜京急ビルで、テナントの入れ替 もりを機に IED/Vを推進した (IED/V率は去質出) 実施の結果
対車量の達た体置第3の者象のの目成め的(2号)自排削標すのな規条該動出減をる具措則第当業		
	計画	実施の結果
再生 ネ等では マースの オリスの 大具置 は は は いのの 体		
L		

(筆4面) 別紙1

(第4面) 別	紙1	
	計画	実施の結果
工場等に		
おける排		
温風の目標		
おけるがるがるがある。おけるのでは、おけるのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		
る 具体 関本 は は は は は は ま は ま ま は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま		
(規則第		
2条第1		
号又は第		
2 号 該当 の 車 業		
者)		

(第4面) 別紙2

(第4面)別	紙2	
	計画	実施の結果
対象自動		
車の排出		
里の削減 の目標を		
達成する		
ための具		
対車量の達た体置第3の者象のの目成め的(2号事)自排削標すのな規条該業動出減をる具措則第当		
第2条第		
3号該当		
の争業者)		

(第4面) 別紙3 計画 実施の結果

(第5面) 京浜急行電鉄株式会社

6 地域の地球温暖化対策の推進への貢献

計画	実施の結果
<森林保全・緑化推進>	<森林保全・緑化推進>
○神奈川県による「小網代近郊緑地保全区域」の指定に同意	○「小網近代緑地特別保全地区」内に所有する約10haを自主保
し、所有する約10haを自主保存するとともに、約2haを神奈川県	
	○環境保全活動を通じて、人と自然が健やかにつながる未来を
	目指し、当社は「みうらの森林プロジェクト」として、三浦半
	島に所有する社有林において、間伐等による適切な森林管理を
保全に協力している。	行った (2023年度~)。
	また、この森林管理を通じて発生した木々を、沿線の発電所
	において木質バイオマス燃料として発電に使用し、さらに発電
	された再生可能エネルギーの環境価値を有する電気を当社施設
	に導入するなど、エネルギーの地産地消を体現した。2023年度 はさらに間伐材のアップサイクル (タンブラー・ベンチ等)等
	はさらに剛伐材のアップリイグル(ダンプノー・ペング等)等 を行ったる。
	(£11.2)(=3)

7 温室効果ガスの排出の量の削減に寄与する製品の開発	その他の温室効果ガスの排出の量の削減等に関する取組
計画	実施の結果
○再生可能エネルギー由来の実質C02排出ゼロの電力の採用・神奈川県と東京電力EPが提供する、神奈川県営水力発電所から電力を調達するメニュー「アクアdeパワーかながわ」を、クループ12社が入居する京急グループ本社に導入することで、オビルにおける電力由来のC02排出量をゼロとするほか、電気料金	○再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力の採用 ・2022年度の実績としてCO2換算約1,120トン(一般家庭約432世 「帯分)、2023年度の実績として約809トン(一般家庭約312世帯

8 エネルギー管理指定工場等の一覧表

指定 の区 分	工場等の名称	工場等の所在地	日本標準産業 分類における 細分類番号	実施する事業の名称

9 エネルギー管理指定工場等以外の工場等の一覧表(基準年度における原油換算エネルギー使用量が1,000k1以上のものに限る。)

工場等の名称	工場等の所在地	日本標準産業 分類における 細分類番号	実施する事業の名称	基準年度における原油換算エネルギー使用量(k1)

(第7面) 京浜急行電鉄株式会社

(個別票)

10 エネルギー管理指定工場等ごとのエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況、排出量の削減の目標及び当該目標を達成するための措置の内容

1	1 `	工場等の名	称笙
١	ш.	1 上物 ギリカ	47/N TF

\ <u> - /</u>		// ·1	7 1	1.1 .1											
エ	場	等	の	名	称										
工	場	等(り所	f 在	地										
工	場	等	の	規	模	建築面積	を物の	延べ					:	m ²	
						部		署		名					
連		糸	⟨z		先	電	話	;	番	号	-	_	-		
進		开	Ħ		兀	F	A	X	番	号	_	-	-		
						電子	ニメー	ルラ	アドル	ノス					

(2) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標

			. —																
		基	準	. 1	排	出	量	計画の初]年度(量	の排出	2 年度	 目	の排出	量	3 年	度 目	の掛	丰出	量
工場等におけるエネルギー 起源二酸化炭	年度ごとの排	(基)			tCO ₂		(基)		tCO_2	(基)		tO	002	(基)			tC(02
起源二酸化灰 素の排出の状 況等	出量の推移	4	年月	差 目	の	排出	土量	5年度	目の排	‡出量	目標と の排出	した 量	最終年	F度	削	海	芃		率
		(基)			tCO ₂		(基)		tCO_2	(基)		tO	002	(基)			%	
	原単位の指標 の種類							排出量原	単位の	の単位									
工場等における排出量原単		基位	準年	度の	排	出量原	原単	計画の初 量原単位		の排出	2 年度 単位	目の	排出量		3 年度 単位	ま目の	排	出量	原
位によるエネ ルギー起源二 酸化炭素の排	年度ごとの排出長原出位の)					(基			(基)				(基)				
酸化炭素の排 出の状況等	出量原単位の 推移	4 位	年度	目の	排	出量原	原単	5年度目 単位	の排出	出量原	目標と の排出			F度	原 単	位	削	減	率
		(基)					(基)			(基)				(基)			%	
	おけるエネル 化炭素の排出 る説明																		

(第8面) 京浜急行電鉄株式会社 結果8面個別票

(3) 工場等の排出量の削減の目標を達成するための措置の内容

		対策の区分	対策の内容	実施状	未実施の理由
	番号	名称	NJK VP14A	況	小 大旭の廷田
1				□実施	
1				□未実施	
0				□実施	
2				□未実施	
				□実施	
3				□未実施	
				□実施	
4				□未実施	
				□実施	
5				□未実施	
				□実施	
6				□未実施	
				□実施	
7				□未実施	
				□実施	
8				□未実施	
				□実施	
9				□未実施	
				□実施	
10				□未実施	
				□実施	
11				□未実施	
				□実施	
12				□未実施	
				□実施	
13				□未実施	
				□実施	
14				□未実施	
				□実施	
15				□未実施	

備考 1 ※印の欄は、記入しないでください。

- 2 □のある欄には、該当する□内にレ印又は■を付してください。
- 3 第4面の5の欄には、排出量の削減の目標を達成するための事業者の対策の計画及び実施の結果を具体的に記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付してください。
- 4 第5面の6の欄には、中小企業への省エネルギー技術の普及・移転、環境教育の実施、森林の保全・緑化の推進などの分野をはじめとする具体的な取組の計画及び実施の結果を記載してください。
- 5 規則第2条第1号又は第2号該当の事業者にあっては、総括票及び個別票を作成した工場等ごとに、最終年度における排出量の算定の根拠を明らかにする書類を添付してください。また、個別票には、使用している設備の管理状況及び排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容を確認できる書類を添付してください。
- 6 規則第2条第3号該当の事業者にあっては、最終年度における排出量の算定の根拠を明らかにする書類、使用している自動車の管理状況及び排出量の削減の目標を達成するための具体的な措置の内容が確認できる書類を添付してください。

別紙1(エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表) 2024年度提出用(2023年度実績値) Ver.1

事業者名: 京浜急行電鉄株式会社 対象: 全県(総括)

調整後 二酸化炭素排出合計量(tCO2) 原油換算エネルギー使用量(kL) 6,693 12,200 10,200 (有効数字3析処理後) 12 排出量原単位(有効数字3析処理後) (tCO2/) 排出量原単位の指標 名称 単位 基礎 調整後

エネルギーの種類 大きの 大き	_			【参:	考】排	出量原単	位(有	効数写	字処理前)→	基礎				調整後							
原油(コンデンセートを除く。) O kL 38.2					3 2 321						いたエネ	ルギー量			炭素						
開港(コンデンセートを除く。) 0 kL 38.2 0 0 kL 0 0 0.0017 0.0187 0.01		エネル	ギーの	の種類		alek links a	単		A量療	数値	単	熱量B	一熟量	CO2排	出係数	単	CO2排出	tCO2)			
照施(コンデンセート(NGL) 0 kL 38.2 0 0 0 kL 0 0 0.0187 0.020 0 0 187 0.00 0 1 1 1 0.00 0 1 1 1 0.00 0 1 1 1 0.00 0 1 1 1 0.00 0 1 1 1 0.00 0 1 1 1 0.00 0 1 1 1 0.00 0 1 1 1 0.00 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 1						数ILA	位		(GJ)	В	位	(GJ)	(※2)	基礎	調整後	位	基礎	調整後			
接発油(ガソリン)		原油(コン	デンセ	一トを防	}〈。)	0	kL	38.2	0	0	kL	0	*****	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	0			
### 279		原油のうち	コンデン	/セート(NGL)	0	kL	35.3	0	0	kL	0	0	0.0184	0.0184	tC/GJ	0	0			
打油		揮発油(カ	ブソリン	')		0	kL	34.6	0	0	kL	0	0	0.0183	0.0183	tC/GJ	0	0			
軽油		ナフサ				0	kL	33.6	0	0	kL	0	0	0.0182	0.0182	tC/GJ	0	0			
A重油		灯油				0	kL	36.7	0	0	kL	0	0	0.0185	0.0185	tC/GJ	0	0			
日・○里油 石油アスファルト の		軽油				0	kL	37.7	0	0	kL	0	0	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	0			
石油アスファルト 0 t 40.9 0 0 t 0 t 0 0 0.0268 0.0208 0.		A重油			122	kL	39.1	4,770	0	kL	0	4,770	0.0189	0.0189	tC/GJ	331	331				
## 日油コークス		B∙C重油		0	kL	41.9	0	0	kL	0	0	0.0195	0.0195	tC/GJ	0	0					
おおすス 次化石油ガス(LPG) 25		石油アス	ファルト	`		0	t	40.9	0	0	t	0	0	0.0208	0.0208	tC/GJ	0	0			
日本田		石油コー				0	t	29.9	0	0	t	0	0	0.0254	0.0254	tC/GJ	0	0			
日本発展では不素ガス 0 中 m 44.9 0 0 中 m 0 0 0.0142 0.		石油ガス	液化石	油ガス(LPG)	25	t	50.8	1,270	0	t	0	1,270	0.0161	0.0161	tC/GJ	75	75			
大然ガス その他の競性天然ガス						0	千㎡	44.9	0		千㎡		0	0.0142	0.0142	tC/GJ	_	0			
□ 日本	料					0	_		_				0			tC/GJ		0			
一般炭		天然ガス			然ガス		千㎡				-					tC/GJ	_	0			
無煙炭 0 t 26.9 0 0 t 0 t 0 0 0.0255 0.025 0.025 0.025 0.025 0.00 0 0 1 0 0 0.025 0.025 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0							t		_		t							0			
石炭コークス		石炭					t				t		_			tC/GJ	_	0			
コールタール 0 t 37.3 0 0 t 0 0 00209 00209 00209 00200 0		- -		₹														0			
コークス炉ガス																	_	0			
高炉ガス 0 千m 3.41 0 0 千m 0 0 0.0263 0.						_		_									0				
転炉ガス			Pカス						_									0			
## おっかっ		1: 011					_				_					0					
小計 の 66,430 の 66,43									<u> </u>							0					
産業用蒸気 0 GJ 1.02 0 GJ 0 0 0.060 0.060 0.060 0.060 0.060		部叩ハヘ	小計	1,342	+m	45.0	,	0	+111			0.0136	0.0136	tC/GJ							
産業用以外の蒸気		产業田 蓀	与		וםיני		<u></u>	1.02			G I			0.060	0.060	tCO2		3,417			
語水				与							1					tCO2		109			
冷水	埶		71 02 77	***									· ·			tCO2		0			
小計 8,740 GJ	<i>,</i> ,,,,															tCO2		390			
A0289 東京電力		. 10.3.			小計				,			_				/G.I		499			
大学				4				9.97	,	0			,	0.000457	0.000390			5,803			
A0289東京電力工 デジーパートナー (株) 20,797 0.000457 0.000000 (CO2 /kWh) 953 (CO2 /kWh) 9.28 0 0 +kWh 0 0.000457 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000457 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000457 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000457 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000000 (CO2 /kWh) 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000000 (CO2 /kWh) 0 0.000000 (CO2 /			トナー		-	<u> </u>			,				· ·			tCO2		0,000			
大学・パートナー G 夜間 O 〒kWh 9.28 O O 〒kWh O 0.000457 0.000000 (COC) (kWh O COC) (kWh O			電力エ						_							tCO2		0			
A0311 (株)ハルエ 本二 昼間 486 〒kWh 9.97 4.845 0 〒kWh 0 0.000431 0.000376 (たの2 kWh 0.0000431 0.0000431 (たの2 kWh 0.0000431 0.000376 (たの2 kWh 0.0000431 0.000376 (たの2 kWh 0.0000431 0.0000431 (たの2 kWh 0.0000431 (kWh 0.0000431 (kWh 0.0000431 (kWh			トナー						,				· ·			tCO2		0			
本 なし 夜間 0 +kWh 9.28 0 0 +kWh 0 0.000431 0.000376 1CO2 285 32 (kWh 0.0000450 0.0004				 					_								_				
A0050_ENEOS メニュー 昼間 712 〒kwh 9.97 7,099 0 〒kwh 0 0,00040 0,00045 0,00045 0,000 0,00045			ハルエ		-				,				· ·			/kWh tCO2					
A0050_ENEOS メニュー 上世間 1/2 中kwh 9.97 1,099 1 中kwh 1,099 1,000400		_							_				_			/kWh tCO2	·	0			
数字業者名を選 メニュー 昼間 0	_	A0050_ENE (妹)	EOS		-							/_									
電気事業者名を選 メニュー 昼間 0	电气								_			/_		U.000400	0.000459	/kWh	0	0			
電気事業者名を選 メニュー 昼間 0 〒kWh 9.97 0 〒kWh 0 1 tCO2 / kWh 7 tkWh 0 1 tCO2 / kWh 1 t	٦K		名を選	メニュー								/				/kWh					
表現		אע		C.657	汉间					0	千kWh	/_				/kWh					
電気事業者名を選 メニュー 昼間 0 〒kWh 9.97 0 〒kWh 0 0 1 tCO2			名を選			0				/	千kWh	/_				/kWh					
Tang		坎		を選択	1久1町	0			0	/	千kWh										
その他 上記以外の買電(※1) 0 +kwh 9.26 0 +kwh 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			名を選		昼間	0	千kWh	9.97	0		千kWh		0			tGO2 /kWh					
大部		択		を選択	夜間	0			0		∸kWh		0			tCO2 /kWh					
小計 18,164 _{〒kWh} 181,095 _{〒kWh} 8,247 6,31 合計 259,411 12,163 10,22		その他	上記以				 †kWh	9.76	0		千kWh		0	0.000000	0.000000		0	0			
					小計	18,164	∓kWh	/	181,095		∓kWh		/	/			8,247	6,313			
			合 計						259,411								12,163	10,229			

^{※1} 一般送配電事業者、送電事業者及び特定送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給を受ける電気以外の電気及び自己 託送制度を用いて供給を受ける電気で使用した電力がある場合に記入してください。

^{※2 「}熱」に該当するエネルギー種(産業用蒸気等)については、(数値A)-(数値B)

別紙1(エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表) 2024年度提出用(2023年度実績値) Ver.1

事業者名: 京浜急行電鉄株式会社 対象: 横浜・川崎(総括)

調整後 二酸化炭素排出合計量(tCO2) 原油換算エネルギー使用量(kL) 4.976 8,990 7,300 (有効数字3析処理後) 8, 排出量原単位(有効数字3析処理後) (tCO2/) 排出量原単位の指標 名称 単位 基礎 調整後

			【参	考】排。				ヱ処理前)→	基礎		15 =		調整後	1 			
					選及						ルギー量	A重然 一數量		炭素			
	エネル	+-0)種類		数値A	単位	発熱	熱量A (GJ)	数値 B	単 位	熱量B (GJ)	В	基礎	出係数調整後	_	基礎	量(tCO2) 調整後
	原油(コン	デン・ナフ・	―トた 吟	· /)	0	kL	38.2	0	0	kL	0	(※2)	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	
	原油のうち:				0	kL	35.3	0	0	kL	0		0.0184		tC/GJ	0	
	揮発油(た			IGL/	0	kL	34.6	0	0	kL	0			0.0183	tC/GJ	0	_
	ナフサ	, , , , ,	,		0	kL	33.6	0	0	kL	0			0.0182	tC/GJ	0	_
	灯油				0	kL	36.7	0	0	kL	0		0.0185	0.0185	tC/GJ	0	_
	軽油				0	kL	37.7	0	0	kL	0	0	0.0187	0.0187	tC/GJ	0	
	A重油				0	kL	39.1	0	0	kL	0	0	0.0189	0.0189	tC/GJ	0	0
	B·C重油		0	kL	41.9	0	0	kL	0	0	0.0195	0.0195	tC/GJ	0	0		
	石油アス		0	t	40.9	0	0	t	0	0	0.0208	0.0208	tC/GJ	0	0		
	石油コーク	フス			0	t	29.9	0	0	t	0	0	0.0254	0.0254	tC/GJ	0	0
	石油ガス		油ガス(I		0	t	50.8	0	0	t	0	0	0.0161	0.0161	tC/GJ	0	
燃			炭化水素		0	千㎡	44.9	0	0	千㎡	0	0	0.0142	0.0142	tC/GJ	0	
料	3 // I—		然ガス(L		0	t	54.6	0	0	t	0			0.0135	tC/GJ	0	_
	天然ガス			然ガス	0	千㎡	43.5	0	0	千㎡	0		0.0139	0.0139	tC/GJ	0	_
		原料炭			0	t	29.0	0	0	t	0		0.0245	0.0245	tC/GJ	0	_
	石炭	一般炭			0	t	25.7	0	0	t	0		0.0247	0.0247	tC/GJ	0	_
		無煙炭	ξ		0	t	26.9	0	0	t	0		0.0255	0.0255	tC/GJ	0	0
	石炭コーク		0	t	29.4	0	0	t	0		0.0294	0.0294	tC/GJ	0			
	コールター コークス炉				0	t Tw³	37.3	0	0	t 千㎡	0	_	0.0209	0.0209	tC/GJ	0	_
	<u>コーノヘル</u> 高炉ガス	-///			0	チ㎡	3.41	0	0	千㎡	0		0.0110	0.0110	tC/GJ	0	
	<u> </u>				0	<u>+ m</u>		0	0	千㎡	0		0.0203	0.0384	tC/GJ	0	
	都市ガス				1,112		45.0	50.040	0	于m³	0	50.040		0.0136	tC/GJ	2.495	2,495
	Др. (13737	小計	1,112		10.0	50.040	<u> </u>	7	0	50,040				2,495			
	産業用蒸		0	GJ	1.02	0	0	GJ	0		0.060	0.060	tCO2	0			
	産業用以		1,906	GJ	1.36	2,592	0	GJ	0	1,906	0.057	0.057	tCO2	109	109		
熱	温水				0	GJ	1.36	0	0	GJ	0	0	0.057	0.057	tCO2	0	0
	冷水				6,834	GJ	1.36	9,294	0	GJ	0	6,834	0.057	0.057	tCO2	390	390
				小計	8,740	GJ		11,886	0	GJ	0	8,740				499	499
	A0269_東京 ナジーパー		メニュー	昼間	10,714	 †kWh	9.97	106,819	0	∸kWh		106,819	0.000457	0.000390	tCO2 /kWh tCO2	4,896	4,178
	// / / · · · · · · · · · · · · · · · ·	,	L	夜間	0	 †kWh	9.28	0	0	千kWh		0	0.000457	0.000390	tCO2 /kWh tCO2	0	0
	A0269_東京 ナジーパー		ドゴー	昼間	2,086	∓ kWh	9.97	20,797	0	∸kWh		20,797	0.000457	0.000000	/kWh	953	0
	ノシーハー! (株)	_	G	夜間	0	∓kWh	9.28	0	0	∸kWh		0	0.000457	0.000000	tCO2	0	0
	A0311_(株)/	ヽルエ	メニュー	昼間	332	∓kWh	9.97	3,310	0	千kWh		3,310	0.000431	0.000376	/kWh tCO2 /kWh	143	125
	ネ		なし	夜間	0	∓kWh	9.28	0	0	于kWh		0	0.000431	0.000376	tCO2	0	0
	A0050_ENE	os	メニュー	昼間	0	∓kWh	9.97	0	0	∸kWh		0	0.000400	0.000459	/kWh tCO2	0	0
雷	(株)		E	夜間	0	T kWh	9.28	0	0	于kWh		0	0.000400	0.000459	/kWh tCO2	0	0
気	電気事業者	タを選	4		0	÷kWh		0	0			0			tCO2		
	択	11 6 165	を選択	夜間	0		9.28	0	0	于kWh		0			/kWh tCO2		
	電気事業者	クセス		昼間	0		9.97	0	Ž	+kWh		0			/kWh tCO2		
	电双字录句 択	10 C 25	を選択		0		9.28	0		+kWh		0			/kWh tCO2		
		A + 18	•-	昼間	0		9.97	0				0			/kWh tCO2		
	電気事業者 択	石を選	メニューを選択		0		9.28	0		千kWh		0			/kWh tCO2		
		上記以		区间	0			0		千kWh			0.000000	0.000000	/kWh tCO2	0	0
	その他 上記以外の買電(※1)						9.76			干kWh		0	0.000000	0.000000	/kWh	_	_
		△ =!		והיני	13,132	∓kWh		130,926		∓kWh						5,992	
		合 計						192,852								8,986	7,297

^{※1} 一般送配電事業者、送電事業者及び特定送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給を受ける電気以外の電気及び自己 託送制度を用いて供給を受ける電気で使用した電力がある場合に記入してください。

^{※2 「}熱」に該当するエネルギー種(産業用蒸気等)については、(数値A)-(数値B)